



2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月14日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東
 コード番号 6044 URL http://www.sanki-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 義兼
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 北越 達男 TEL 079-289-4411
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	5,584	△5.8	183	△53.3	184	△53.6	130	△52.2
2019年5月期第2四半期	5,931	12.4	393	3.0	397	3.6	273	4.2

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 116百万円 (△57.1%) 2019年5月期第2四半期 272百万円 (3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	22.25	22.21
2019年5月期第2四半期	47.13	46.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	4,837	2,759	56.6	464.71
2019年5月期	4,522	2,744	60.7	470.38

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 2,739百万円 2019年5月期 2,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	9.5	600	△8.1	597	△9.3	392	△9.1	67.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）SANKI-SONADEZI JOINT STOCK COMPANY、除外 1社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期2Q	5,896,085株	2019年5月期	5,834,285株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	189株	2019年5月期	143株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期2Q	5,870,122株	2019年5月期2Q	5,797,665株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年1月22日（水）に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境は底堅く推移したものの、設備投資や輸出が弱含み企業収益に減速傾向が見られました。一方、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題の長期化に伴う世界経済の下振れリスクによる景気動向の不確実性から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、設備の維持管理コストを減少させるための省エネ提案や、突発的な故障の発生を減少させるための保全メンテナンスの要望が多くなってきており、また、当社グループがメインターゲットとしている小売業や飲食業を中心とした多店舗展開企業では、メンテナンス管理の一括アウトソーシング化のニーズも高まってきております。

このような環境下において、当社グループは、24時間365日稼働のコールセンターを核としたすべての設備機器を対象とするサービスを強みとして、社内に蓄積されたノウハウやデータに基づき突発的な修理不具合を未然に防止するための保全メンテナンスや機器入替、また、環境改善を考えた省エネ等の提案営業を行ってまいりました。

また、自社メンテナンスエンジニアの多能工化（特定の設備機器のみならず数種の設備機器を扱うことができる事）により生産性を向上させるため、引き続き当社研修センターでの実機研修による人材育成に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、省エネ工事案件が順調に推移したものの、前第2四半期連結累計期間での災害復旧対策工事や大口の改修工事の影響等により減少し、5,584,880千円（前年同期比5.8%減）、売上原価4,298,823千円（前年同期比8.1%減）となりました。

また、販売費及び一般管理費は、体制強化のための人員補強による人件費及び採用費の増加、並びに新システム導入に伴うコスト等により1,102,606千円（前年同期比27.9%増）となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は183,450千円（前年同期比53.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の経常利益は184,456千円（前年同期比53.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は130,628千円（前年同期比52.2%減）となりました。

なお、2019年7月12日に発表いたしました通期の業績予想の修正はございません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ271,428千円増加し3,648,777千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が417,898千円増加した一方で、現金及び預金が195,903千円減少したこと等によります。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ44,539千円増加し1,189,206千円となりました。主な要因は、無形固定資産が44,148千円増加したこと等によります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ315,967千円増加し4,837,984千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ327,863千円増加し1,721,322千円となりました。主な要因は、工事未払金が233,849千円増加したこと等によります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ26,870千円減少し356,863千円となりました。主な要因は、長期借入金が29,183千円減少したこと等によります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ300,992千円増加し2,078,185千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ14,974千円増加し2,759,799千円となりました。主な要因は、資本金及び資本剰余金がそれぞれ22,045千円、非支配株主持分が19,901千円増加した一方で、利益剰余金が44,395千円減少したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前年同四半期連結会計期間末に比べ70,007千円増加し851,475千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は38,555千円(前年同四半期は347,198千円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が184,456千円、仕入債務の増加額が239,954千円、その他の流動負債の増加額が100,209千円あった一方で、売上債権の増加額が425,377千円、たな卸資産の増加額が62,183千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ54,078千円増加し114,700千円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が29,806千円、無形固定資産の取得による支出が75,347千円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ23,871千円減少し147,900千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入35,309千円、配当金の支払額が174,833千円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年7月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,602	1,092,699
受取手形及び売掛金	1,870,681	2,288,580
未成工事支出金	35,569	97,920
原材料及び貯蔵品	43,095	42,927
その他	140,441	127,665
貸倒引当金	△1,041	△1,015
流動資産合計	3,377,349	3,648,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	241,803	235,145
土地	93,797	93,797
その他(純額)	39,972	36,198
有形固定資産合計	375,574	365,141
無形固定資産	320,277	364,425
投資その他の資産		
投資有価証券	167,558	167,982
長期前払費用	100,054	105,169
退職給付に係る資産	23,107	25,066
繰延税金資産	94,045	93,827
その他	68,972	72,515
貸倒引当金	△4,921	△4,921
投資その他の資産合計	448,816	459,640
固定資産合計	1,144,667	1,189,206
資産合計	4,522,017	4,837,984
負債の部		
流動負債		
工事未払金	827,712	1,061,562
1年内返済予定の長期借入金	59,992	59,179
未払法人税等	94,000	82,349
賞与引当金	100,000	104,695
その他	311,754	413,536
流動負債合計	1,393,458	1,721,322
固定負債		
長期借入金	40,036	10,853
退職給付に係る負債	137,006	140,981
資産除去債務	15,633	15,731
長期末払金	156,545	156,545
その他	34,512	32,751
固定負債合計	383,733	356,863
負債合計	1,777,192	2,078,185

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,940	590,985
資本剰余金	454,440	476,485
利益剰余金	1,722,888	1,678,493
自己株式	△230	△274
株主資本合計	2,746,038	2,745,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△446	△309
為替換算調整勘定	△1,352	△5,481
その他の包括利益累計額合計	△1,799	△5,791
新株予約権	585	—
非支配株主持分	—	19,901
純資産合計	2,744,824	2,759,799
負債純資産合計	4,522,017	4,837,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	5,931,549	5,584,880
売上原価	4,676,138	4,298,823
売上総利益	1,255,411	1,286,056
販売費及び一般管理費	862,227	1,102,606
営業利益	393,183	183,450
営業外収益		
受取利息	665	698
受取配当金	259	604
受取家賃	1,158	1,065
受取手数料	626	687
受取補償金	3,358	—
その他	888	1,192
営業外収益合計	6,956	4,247
営業外費用		
支払利息	1,041	1,020
租税公課	1,350	1,275
為替差損	352	596
その他	189	348
営業外費用合計	2,933	3,240
経常利益	397,206	184,456
税金等調整前四半期純利益	397,206	184,456
法人税等	123,977	61,518
四半期純利益	273,229	122,938
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△7,690
親会社株主に帰属する四半期純利益	273,229	130,628

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	273,229	122,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	136
為替換算調整勘定	△574	△6,077
その他の包括利益合計	△709	△5,940
四半期包括利益	272,520	116,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,520	126,636
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△9,638

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	397,206	184,456
減価償却費	17,693	33,993
貸倒引当金の増減額(△は減少)	54	45
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,576	△1,959
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,685	3,974
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△164,582	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,987	4,695
受取利息及び受取配当金	△925	△1,302
支払利息	1,041	1,020
株式報酬費用	2,159	4,207
受取補償金	△3,358	—
為替差損益(△は益)	498	596
売上債権の増減額(△は増加)	△466,528	△425,377
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,525	△62,183
仕入債務の増減額(△は減少)	13,898	239,954
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△37,112	18,474
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△41,947	100,209
その他	156,618	△2,913
小計	△165,688	97,894
利息及び配当金の受取額	912	1,301
利息の支払額	△1,026	△1,009
受取補償金の受取額	3,358	—
法人税等の支払額	△184,754	△59,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	△347,198	38,555
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,011	△29,806
有形固定資産の取得による支出	△3,447	△669
無形固定資産の取得による支出	△43,434	△75,347
投資有価証券の取得による支出	△217	△226
敷金及び保証金の差入による支出	△2,338	△1,357
敷金及び保証金の回収による収入	265	403
長期前払費用の取得による支出	△2,967	△5,226
その他	△2,470	△2,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,622	△114,700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△29,996	△29,996
自己株式の取得による支出	△153	△44
新株予約権の行使による株式の発行による収入	12,339	35,309
配当金の支払額	△161,862	△174,833
非支配株主からの払込みによる収入	—	29,540
その他	7,900	△7,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,771	△147,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	△450	△1,664
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△580,042	△225,710
現金及び現金同等物の期首残高	1,361,509	1,077,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	781,467	851,475

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。